

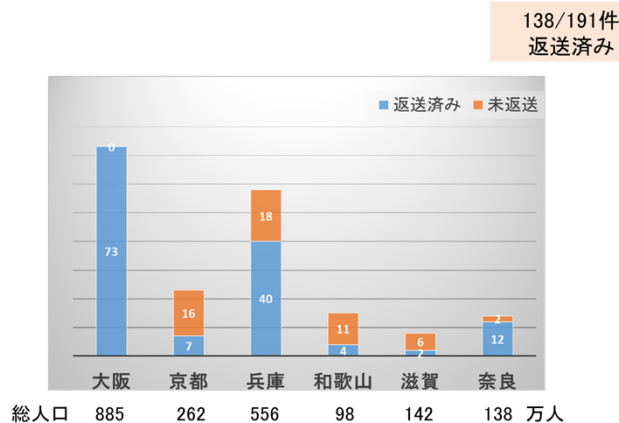
## 多施設共同によるプリオン病在宅診療システムと 今年度の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況

研究分担者：大阪大学大学院医学系研究科 望月 秀樹

多施設共同によるプリオン病在宅診療システム



2011-13(H23-25)年分の調査未終了数



### 解 説

1. プリオン病患者・家族が安寧に在宅療養を行うため、大阪大学医学部附属病院を含む多施設共同による在宅診療システムの構築を行った。
2. 近畿ブロックでは191例分の調査結果が未回収であったが、今年度、改めて都道府県担当専門医を通じて各施設への働きかけを行った結果、2019年1月末までの時点で138例から調査結果の回答が得られた。